第10回：終わりなき進化！豊和のPDCAを回し続けよう

豊和鍛工流・ISO勉強会 最終講義

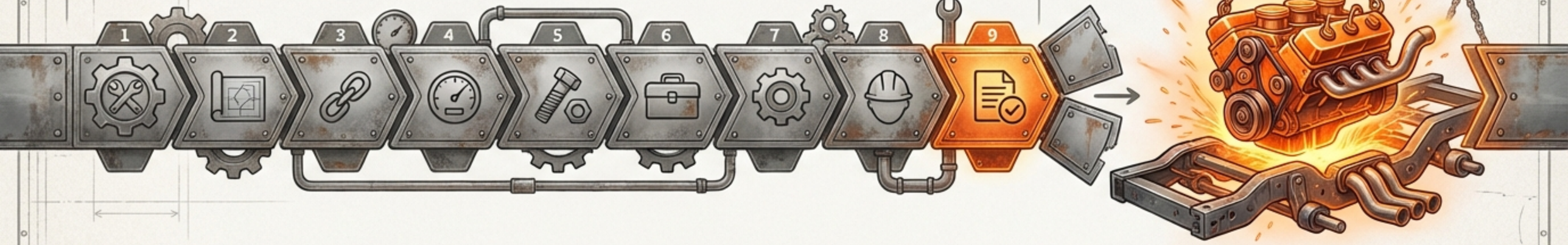
執筆者: IMS事務局マネージャー

NotebookLM

全10回の集大成：ISOは「守る」から「攻める」へ

第10回：集大成
「攻める」エンジン

これまでの軌跡



これまでに学んだこと

「世界共通のモノサシ」
「豊和の看板（方針）」
「現場のルールと証拠」

第10回のテーマ

ISOの心臓部であり、豊和鍛工が
未来へ勝ち残るためのエンジン

キーワード

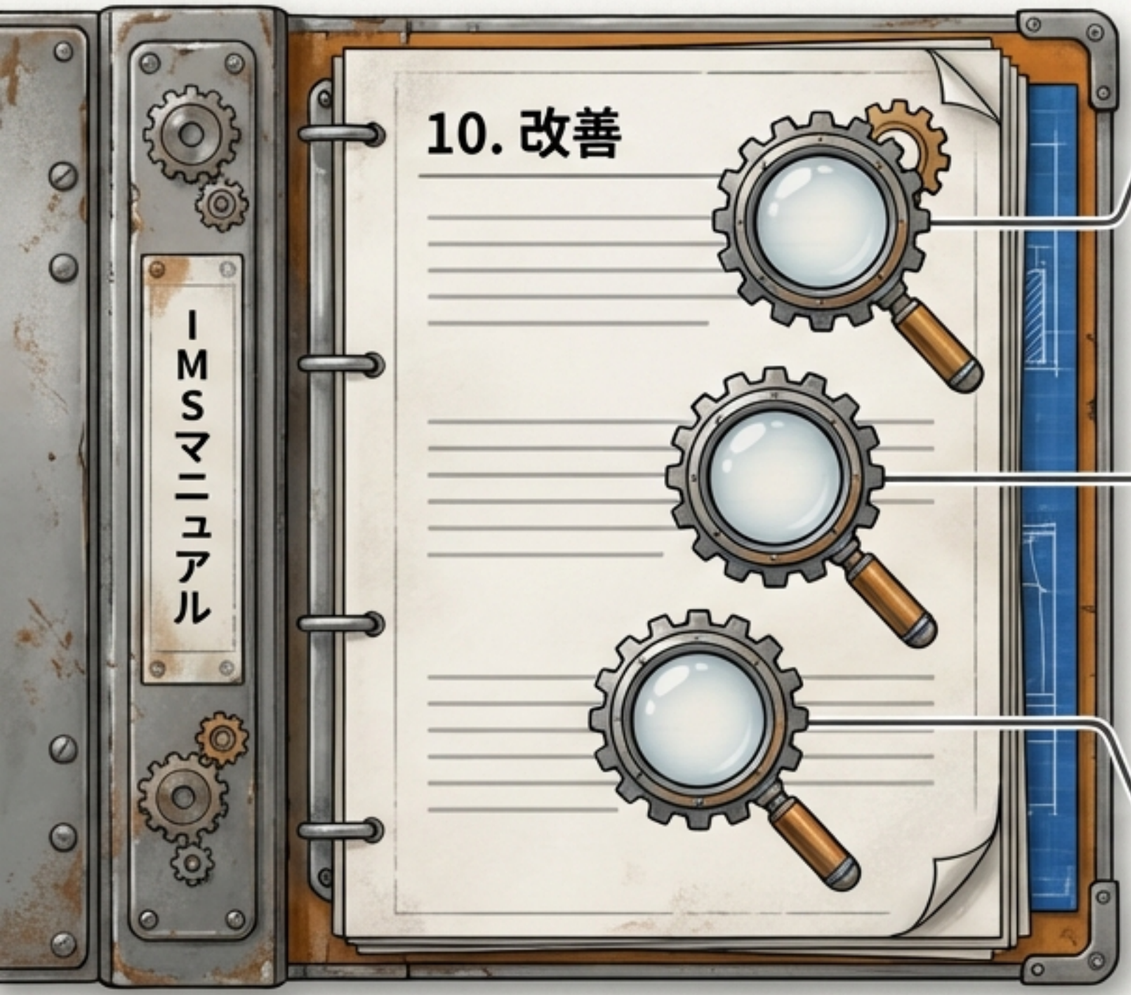
「改善（かいぜん）」
「PDCAサイクル」

マニュアルを覚える旅はここで終わり。ここからは「使いこなす」旅が始まります。

NotebookLM

IMSマニュアル「10. 改善」のルール

現状に満足せず、常により良い状態を目指すための３つの柱



10.1 一般

顧客満足を高め、環境への良い影響を増やすチャンスを見つける。

10.2 不適合及び是正処置

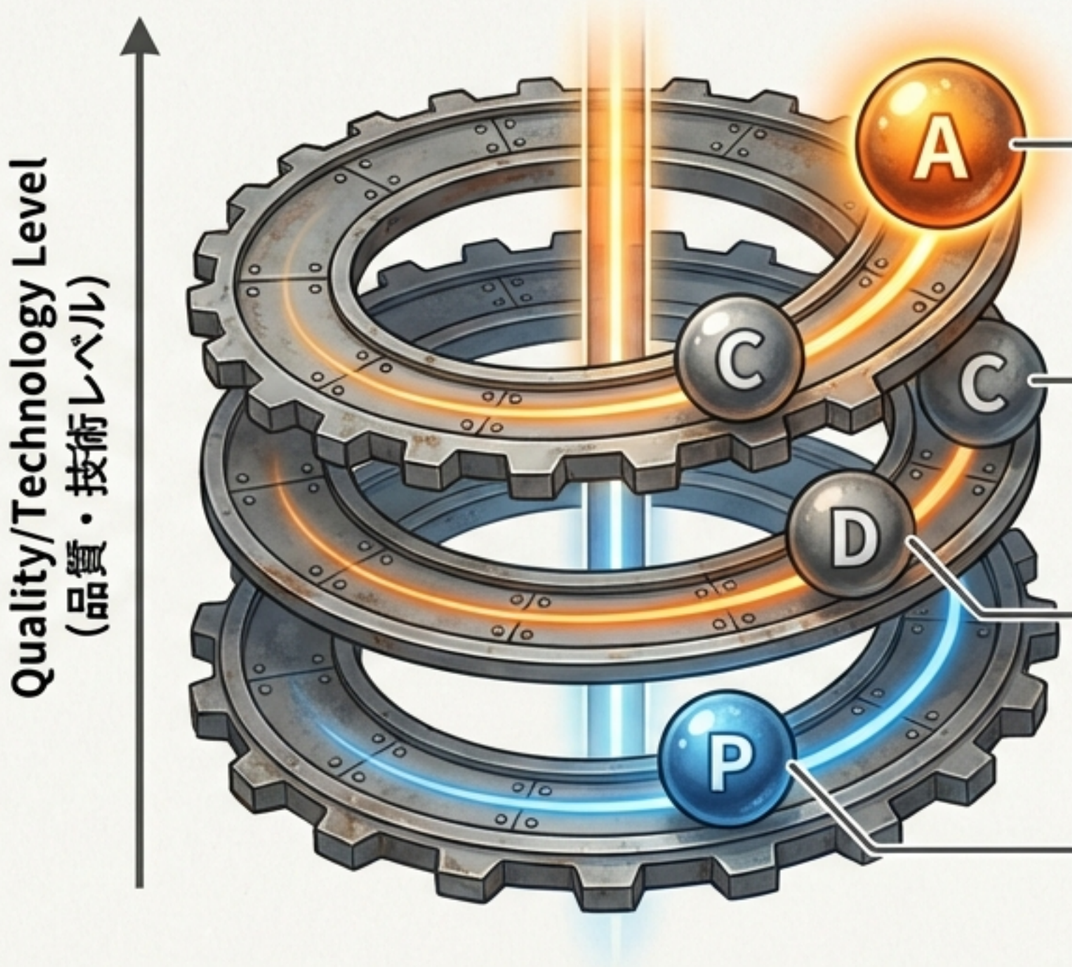
トラブル（ミスやクレーム）が起きたら、「二度と同じことが起きないように」原因を突き止め対策する。

10.3 継続的改善

仕組み（IMS）が今の時代や現場に合っているかを常に考え、ブラッシュアップし続ける。

NotebookLM

豊和鍛工のPDCAは「進化の螺旋（らせん）」



A (Act)：課題の処置・改善（★今回の主役）

C (Check)：内部監査・製品検査・進捗管理

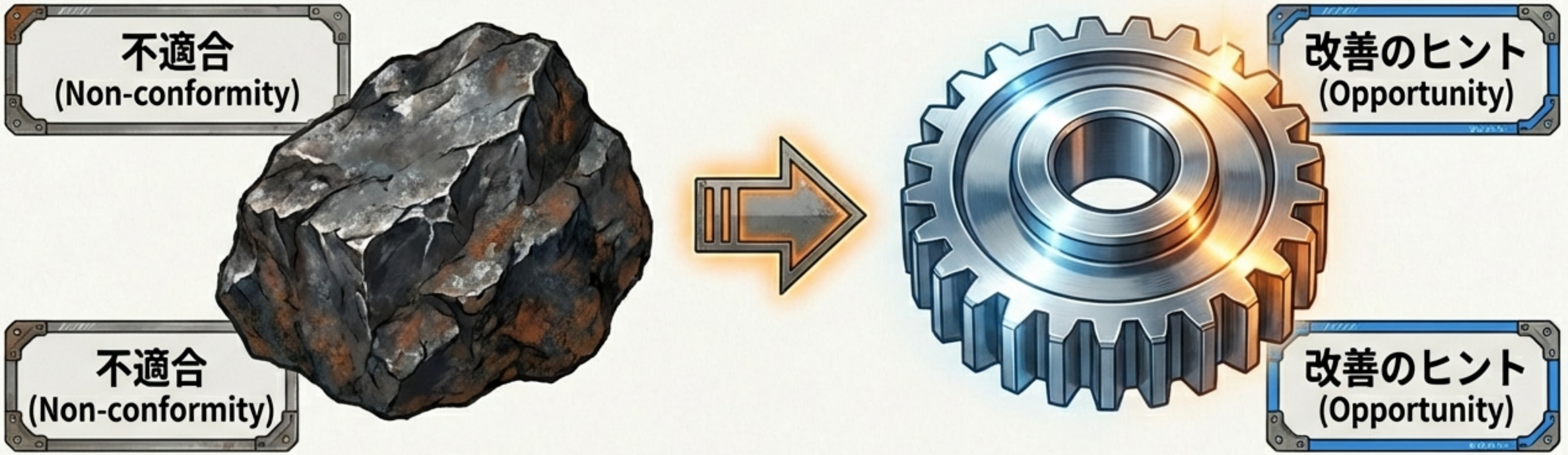
D (Do) ：ルール通りの鍛造・製造

P (Plan) ：年度方針・作業手順の決定

サイクルが止まることはありません。「昨日より今日、今日より明日」。
私たちの技術と仕組みを磨き上げることがISOの目的です。

NotebookLM

現場のアクション①：「ミス」を隠さず「宝」にする

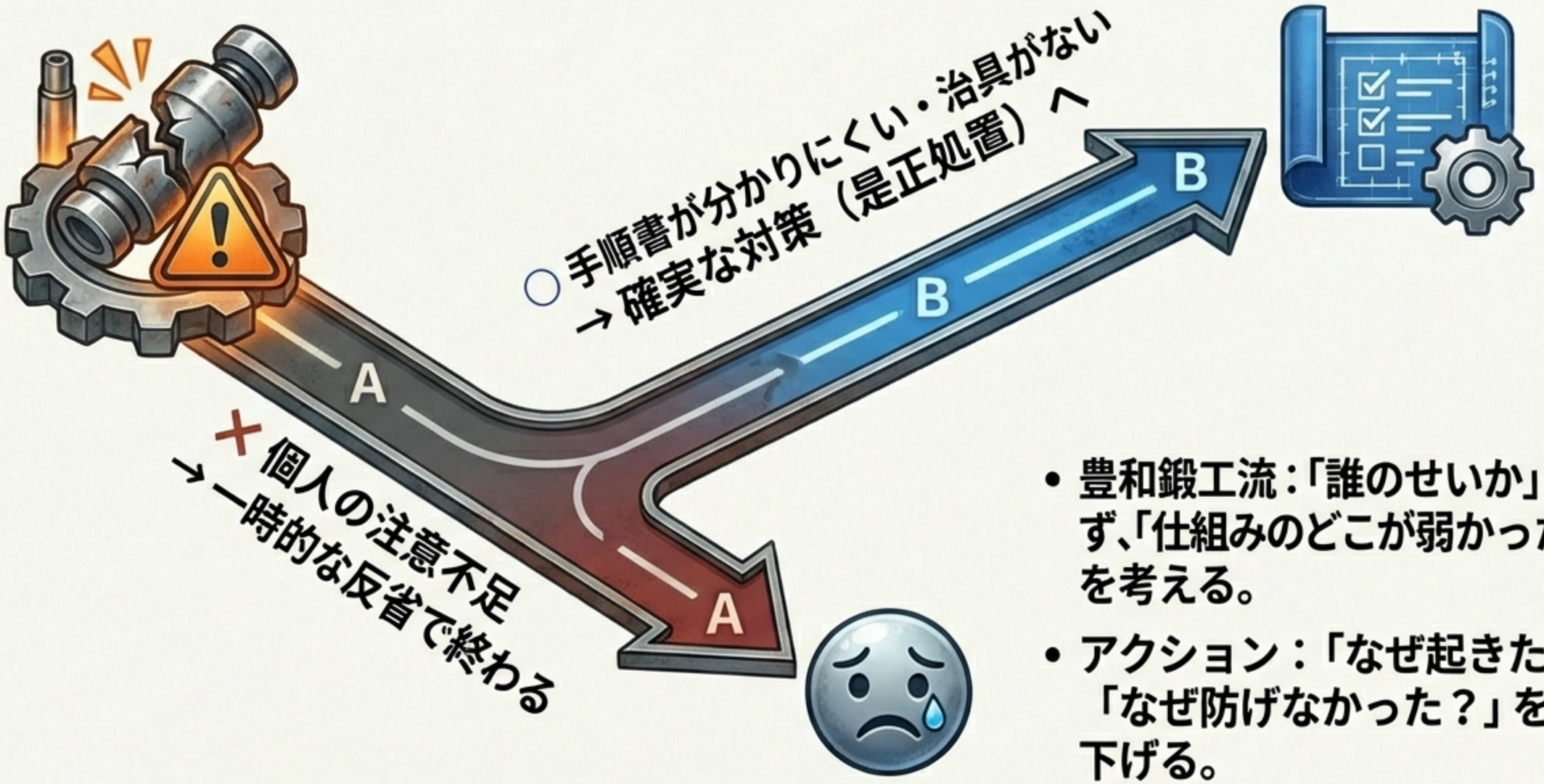


- 最大のリスク：ミス（不適合）を隠してしまうこと。
- アクション：「失敗しちゃった」「ヒヤリとした」という情報を、すぐに報告してください。
- 理由：その情報は、会社を強くする「改善のヒント（宝）」になるからです。

報告は「是正処置（二度と起こさない対策）」の第一歩です。

NotebookLM

現場のアクション②：「なぜ？」を５回繰り返す



- 豊和鍛工流：「誰のせいか」を責めず、「仕組みのどこが弱かったか」を考える。
- アクション：「なぜ起きた？」「なぜ防げなかった？」を掘り下げる。

NotebookLM

現場のアクション③：「形骸化(けいがいか)」を壊す

禁止ワード：
「昔からの決まりだから」
「ISOで決まっているから」

現場の声：
「この記録、本当に必要ですか？」
「この手順、もっと楽にできませんか？」

アクション：疑問を事務局に届けてください。
現場に合わないルールを変えることこそが「継続的改善」です。

NotebookLM

改善の足跡を残す大切な帳票

是正処置報告書

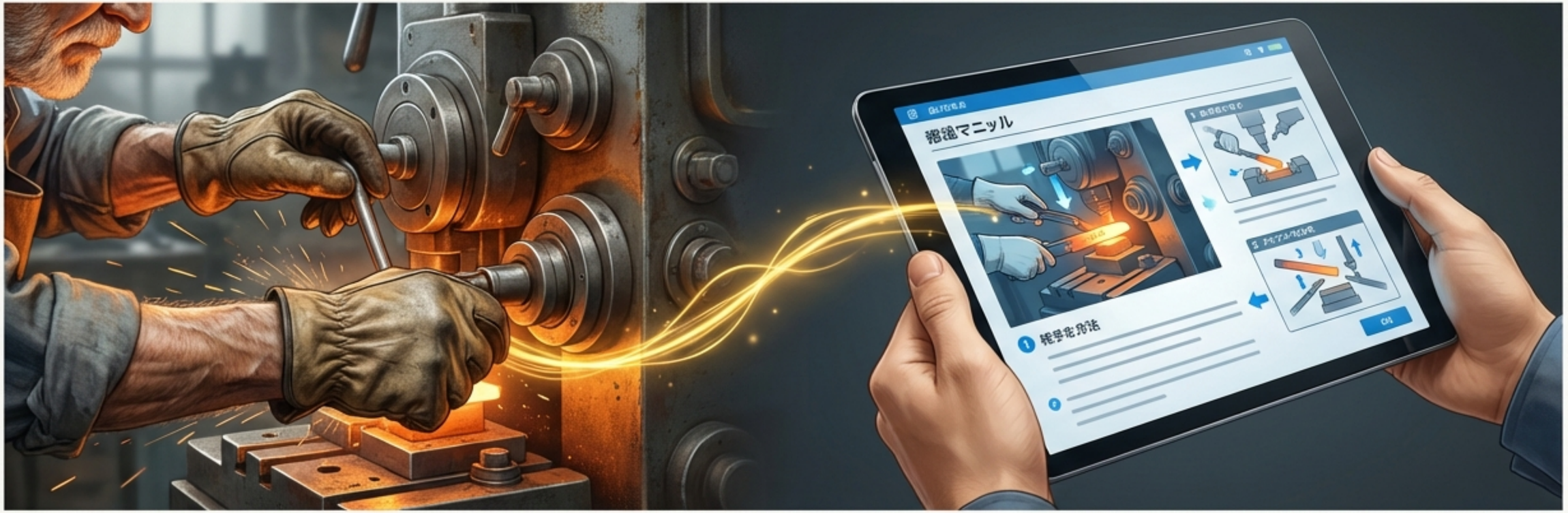
役割：発生した不適合の原因と、再発防止策の内容、その効果を確認した証拠を残します。

IMSマネジメントレビュー評価報告書

役割：経営層が1年の活動を振り返り、「次はこうしよう」と指示を出した記録です。

NotebookLM

ISOが豊和鍛工の「匠の技」を守る



- **技術の引継ぎ**：ベテランの素晴らしい技術も、頭の中にあるだけではいつか失われてしまいます。
- **標準化の真意**：技術を文書化することで、若手は早く一人前になり、ベテランはさらなる高度な技術開発に専念できます。
- **結論**：ISOは「守り」でありながら、次世代への「バトン」でもあります。

NotebookLM

事務局マネージャーからのメッセージ

> 「ISOは皆さんの仕事を楽にし、誇りを守るための道具です」

- 分厚いマニュアルを丸暗記する必要はありません。
- 「お客様を笑顔にしたい」「綺麗な現場でありたい」「技を伝えたい」
- 皆さんが普段から思っているこの気持ちこそが、ISOの正体です。
- 事務局はこれからも、マニュアルを「使いやすい形」にアップデートし続けます。

NotebookLM

新生・豊和鍛工ISOのスタート

現場で本当に役立つISOを、一緒に育てていきましょう！

各部署で「ここがよく分からない」「この帳票を改善したい」という要望があれば、いつでも議論しましょう。

全 10 回の勉強会、本当にお疲れ様でした！

NotebookLM